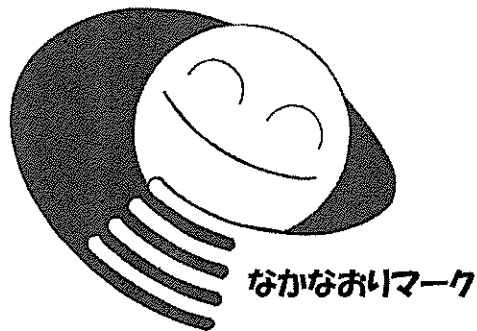


平成28年度

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク競優秀作品

平成29年8月

滝川市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、「滝川市教育推進計画」及び「平成28年度教育行政執行方針」に基づき、平成28年度において教育部の重点事業として実施した9事業に係る事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年8月

滝川市教育委員会

目 次

1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況	1
(2)条例・規則の制定状況等について	4

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1)点検・評価の方法	5
(2)点検・評価の流れについて	5
(3)点検・評価対象事業について	6
平成 28 年度点検・評価対象事業一覧.....	7
(4)点検・評価に関する報告書	
I -(1)-③ 子どもの英語力向上事業.....	8
I -(1)-④ 少人数学級実践研究事業.....	9
II -(5)-② 小・中学校適正配置計画.....	10
II -(5)-② 教育施設整備事業.....	11
V -(13)-① パークゴルフ場事業.....	12
V -(13)-② オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進事業.....	13
V -(14)-① 文化ゾーンの検討.....	14
V -(16)-② 子ども読書活動の推進.....	15
V -(17)-② 開館30周年記念特別展の開催.....	16

1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことにより様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

①教育委員会議

13回開催しました。

H28.04.27	報 告	①3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市社会教育委員の委嘱について 議案第2号 滝川市教育支援委員会議委員の選出について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
H28.05.27	報 告	①教育部補正予算について ②4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③平成28年度公立高等学校配置計画地域別検討協議会(第1回)について ④一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について ⑤スポーツセンター第1体育館耐震改修工事の工事請負契約の締結について ⑥岩橋ふるさと北辰振興会の法人化について
	議 案	選挙第1号 滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例 議案第2号 滝川市文化センター条例の一部を改正する条例 議案第3号 滝川市スポーツセンター条例の一部を改正する条例 議案第4号 滝川市の休日定める条例等の一部を改正する条例 議案第5号 滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第6号 滝川市いじめ防止専門委員会委員の委嘱について
H28.06.27	報 告	①第2回市議会定例会代表質問について ②5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③社会教育施設の利用状況について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市教育委員会事務局事務決裁規程及び滝川市教育委員会事務局職員等懲戒審査職員会議規程の一部を改正する規程 議案第3号 滝川市教育支援センター条例施行規則等の一部を改正する規則 議案第4号 滝川市文化センター条例施行規則の一部を改正する規則
H28.07.22	報 告	①6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察
	議 案	議案第1号 平成28年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第2号 平成28年度から使用する中学校用教科用図書の採択について
	その他	①外国語指導助手の採用について

H28.08.19	報 告	①教育部補正予算について ②7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 議案第2号 平成29年度に使用する高等学校用教科用図書に採択について
H28.09.27	報 告	①公立高等学校配置計画(平成29年度～31年度)について ②8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市立高等学校ストレスチェック制度実施規程 議案第2号 学校職員の処分内申について
	その他	①全国学力・学習状況調査の公表等について ②外国語指導助手の採用について
H28.10.26	報 告	①教育部補正予算について ②9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 公の施設の指定管理者の指定について(文化センター) 議案第2号 公の施設の指定管理者の指定について(音楽公民館)
H28.11.25	報 告	①教育部補正予算について ②専決処分について ③10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
H28.12.20	報 告	①11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②教育支援委員会議の概要について ③いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察について ④成人式の実施について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則
H29.01.23	報 告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市教育推進計画(第2期)について 議案第2号 学校職員の処分内申について
	その他	①平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について
H29.02.17	報 告	①教育部補正予算について ②1月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③文化芸術分野の活性化のための基本方針について ④出願状況について
	議 案	議案第1号 平成29年度教育行政執行方針について 議案第2号 平成29年度教育予算について 議案第3号 滝川市文化センター条例の一部を改正する条例 議案第4号 滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例 議案第5号 滝川市都市公園条例の一部を改正する条例 議案第6号 公の施設の指定管理者の指定について(滝川市スポーツセンター等) 議案第7号 専決処分について(滝川市スポーツセンター第1体育館耐震工事に係る 工事請負契約の変更) 議案第8号 滝川市教育委員会事務局事務決裁規程及び滝川市立学校職員服務規

		程の一部を改正する規程 議案第9号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則
	その他	①卒業式について
H29.03.15	議 案	議案第1号 学校職員の処分内申について
H29.03.29	報 告	①2月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②平成28年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について ③平成28年度卒業生進路決定状況について
	議 案	議案第1号 滝川市石狩川パークゴルフ場条例施行規則 議案第2号 滝川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則 議案第3号 滝川市立高等学校学則の一部を改正する規則 議案第4号 滝川市文化センター条例施行規則の一部を改正する規則 議案第5号 滝川市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第6号 道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第7号 滝川市立学校教員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について
	その他	①入学式について ②辞令交付式

②教育委員協議会

4回開催しました。

開 催 日	調 査 及 び 研 究 内 容
H28.06.28	・滝川西高等学校の職業学科の学科転換について ・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
H28.12.19	・小中学校適正配置計画に係る江部乙地区保護者懇談会について ・滝川市教育推進計画について ・総合教育会議について
H29.01.23	・平成29年度予算要求の概要について
H29.02.22	・平成29年度教育行政執行方針について

(2) 条例・規則の制定状況等について

平成28年度に制定又は改正された教育関係条例の数は5件、教育委員会規則の数は8件です。(施行年月日がH28.4.2～H29.4.1のもの)

①教育関係条例等

題 名	施行年月日
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例	H28.5.1
滝川市スポーツセンター条例の一部を改正する条例	H28.7.1
滝川市文化センター条例の一部を改正する条例	H28.7.1
滝川市文化センター条例の一部を改正する条例	H29.4.1
滝川市都市公園条例の一部を改正する条例	H29.4.1

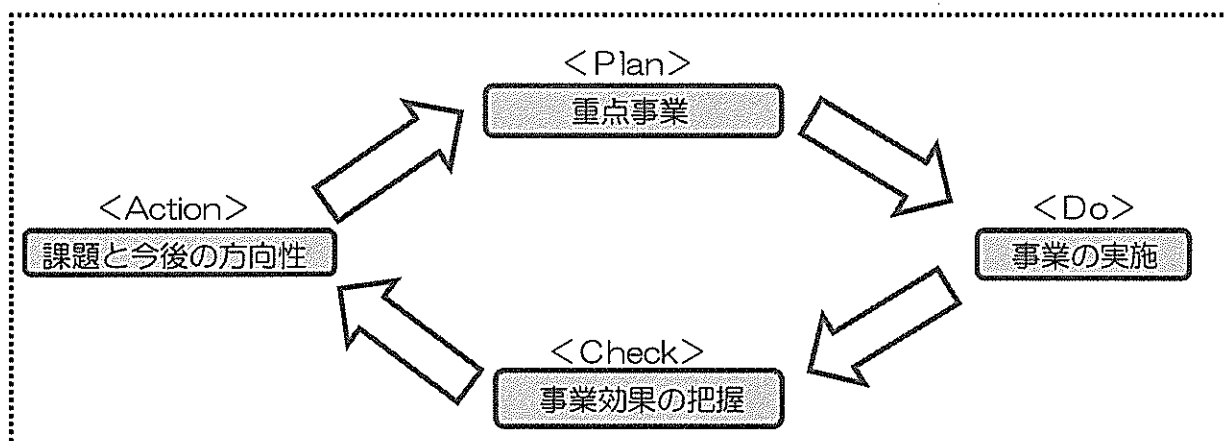
②教育委員会規則

題 名	施行年月日
滝川市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則	H28.6.28
滝川市教育支援センター条例施行規則の一部を改正する規則	H28.6.28
滝川市文化センター条例施行規則の一部を改正する規則	H28.7.1
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H28.12.20
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H29.2.22
滝川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則	H29.4.1
滝川市文化センター条例施行規則の一部を改正する規則	H29.4.1
滝川市市立学校管理規則の一部を改正する規則	H29.4.1
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H29.4.1

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1) 点検・評価の方法

点検・結果のフィードバックについては、PDCAサイクルに基づき、平成28年度重点事業における目標と成果の確認を適切に実施し、来年度に向けた課題とその解決に向けての方向性を決定します。



- ① PDCAサイクルに基づき、事業目標と成果の確認、次年度以降に向けた課題の把握と、その解決に向けた具体的な方針を提示できるよう点検・評価シートの様式を見直しました。
- ② 従来の4段階のランク付けを下記のとおり3段階に変更し、明確・簡潔な区分化を図ります。

変更前		変更後（本年度から適用）	
ランク	内容	ランク	内容
A	期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する	A	期待どおりの成果があり、継続して事業を推進する
B	ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある	B	ほぼ期待どおりの成果があるが、事業の改善を図る必要がある
C	概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である	C	事業の見直しが必要
D	期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要	—	

(2) 点検・評価の流れについて

①点検・評価シートの作成

教育委員会所管課において、点検・評価シートを作成し、実施事業に対する自己評価を行います。

②外部評価の実施

外部評価会議を開催し、点検・評価シートに基づくヒアリングを実施し、事業への取組内容の検証と自己評価へ客観的なご意見をいただき、外部評価としてランク付けをしていただきます。

③点検・評価の報告書作成

外部評価の決定後に点検・評価報告書案として、直近の教育委員会会議に付議し、承認を受けたのち、市議会の所管常任委員会（総務文教常任委員会）に報告書を提出します。

報告後、市のホームページに掲載し、報告書を公表します。

(3) 点検・評価対象事業について

平成24年度からは「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っており、平成27年度は、特に重点的に取組んだ10事業について点検・評価を実施しました。

平成28年度は、「滝川市教育推進計画」及び「平成28年度滝川市教育行政執行方針」に基づき、教育部の重点事業として実施した9事業について点検・評価を実施しました。

※次頁の「平成28年度点検・評価対象事業一覧」参照

平成28年度点検・評価対象事業一覧

①	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む	教育総務課
	推進計画の事業名	(1) 確かな学力の育成	
	重点事業名	③外国語教育の充実	
	H28年度事業名	子どもの英語力向上事業	
②	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む	教育総務課
	推進計画の事業名	(1) 確かな学力の育成	
	重点事業名	④少人数学級実践研究事業の推進	
	H28年度事業名	少人数学級実践事業	
③	推進計画の重点施策	II. 子どもの学びを支える教育環境を整える	教育総務課
	推進計画の事業名	(5) 安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	②小・中学校改築等施設整備の推進	
	H28年度事業名	小・中学校適正配置計画	
④	推進計画の重点施策	II. 子どもの学びを支える教育環境を整える	学校運営課
	推進計画の事業名	(5) 安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	②小・中学校改築等施設整備の推進	
	H28年度事業名	教育施設整備事業	
⑤	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	社会教育課
	推進計画の事業名	(13) 健康な心と体を養うスポーツ活動の推進	
	重点事業名	①スポーツ・レクリエーション活動の支援	
	H28年度事業名	パークゴルフ場事業	
⑥	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	社会教育課
	推進計画の事業名	(13) 健康な心と体を養うスポーツ活動の推進	
	重点事業名	②競技スポーツの振興充実	
	H28年度事業名	オリンピック・パラリンピック合宿推進事業	
⑦	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	社会教育課
	推進計画の事業名	(14) 文化・芸術活動の創造・育成の支援	
	重点事業名	①市民主体の文化・芸術活動の支援	
	H28年度事業名	文化ゾーンの検討	
⑧	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	図書館
	推進計画の事業名	(16) 図書館活動の充実	
	重点事業名	②子どもの読書活動の推進	
	H28年度事業名	図書館を使った調べる学習コンクール	
⑨	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	美術自然 史 館
	推進計画の事業名	(17) 博物館活動の充実	
	重点事業名	①博物館活動の充実	
	H28年度事業名	開館30周年記念特別展の開催	

点検・評価に関する報告書

対象年度	平成28年度	所管課名	教育総務課	
(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む		
	推進計画の事業名	(1)確かな学力の育成		
	重点事業名	③外国語教育の充実		
	平成28年度事業名	子どもの英語力向上事業		
	事業の目標	開西中学校・江部乙中学校に「英語ルーム」を設置し、英語授業の充実を図るとともに、コミュニケーション能力を伸ばす体験活動として「イングリッシュミーティング」を実施します。 ・英語での表現力の育成 ・英語理解力の育成 ・外国人とコミュニケーションを図ろうとする態度の育成		
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	特になし		
(28年度の取組み) (DO)	取組内容	開西中学校及び江部乙中学校に「英語ルーム」を開設するとともに、より英語授業の充実を図るため書画カメラやデジタル教科書等の備品を配備し、英語への関心を喚起する環境の整備に努めた。 また、夏季及び冬季休業期間中に市内中学生を対象に「イングリッシュミーティング」を開催し、コミュニケーション能力を醸成する活動を実施した。		
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	中学校においては教材や備品が整備された「英語ルーム」において、生徒の英語への興味関心を高める授業が日常的に行われている。また、年間で2回実施した「イングリッシュ・ミーティング」にはのべ36名の中学生が参加し、事後アンケートでは自らの英語力向上への意欲を問う質問項目において2回とも90%を超える肯定的回答を得た。 また、28年度に英語ルームを整備した開西中では英検受験者数が前年度の35人から43人に増加、江部乙中学校では、前年度15人から30人に増加するなど、生徒の英語学習に対する意欲の高まりが見られる。		
	事業の目標達成状況	今年度全ての中学校に「英語ルーム」が開設された。このことにより、英語授業が教材や備品が整備された「英語ルーム」で日常的に行われ、生徒の英語への興味関心、学習意欲の向上を図る環境が構築された。また、「イングリッシュ・ミーティング」についても、4技能全てに関わるアクティビティを企画したり、滝川西高等学校英語部生徒をスタッフに加えたりと、内容や運営の改善に努めた。このことにより、英語を話すこと、英語でコミュニケーションをとることへの興味を高め、自身の英語力向上への意欲化を図ることができた。		
(今後の方針) (Action)	「英語ルーム」については、学校と連携しながら、さらなる環境整備を進める。授業はもちろん休み時間や放課後などの利用促進によりスキルアップを図ることができるようにするため、英語検定試験問題集を常備し、英語力向上に向けた環境の充実を進める。 また、「イングリッシュ・ミーティング」の名称を「イングリッシュ・デイキャンプ」と改め、引き続き滝川西高等学校と連携を図りつつ、早期から英語への興味関心を高める観点から、小学生も参加対象とした取組を行う。英語活動を通じた小中高の接続を図り、多様なコミュニケーション活動を実施し、英語の理解力・表現力及びコミュニケーション能力を育成する。			
点検評価委員会 コメント	・英語ルームを設置して、英検受験者を何人増やすなど、明確な目標を設定して実施する必要がある。 ・江陵中学校の英語授業を参観したことがあるが、全員が生き生きと英語に取り組んでいた。英語ルームに行って授業を受けることで気持ちの切り替えができて、よい効果が出ているのだと思う。 ・今後の展開に期待して、評価を「B」とした。		自己評価	点検・評価結果
			B	B

点検・評価に関する報告書

対象年度	平成28年度	所管課名	教育総務課
------	--------	------	-------

(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む
	推進計画の事業名	(1)確かな学力の育成
	重点事業名	④少人数学級実践研究事業
	平成28年度事業名	少人数学級実践研究事業
	事業の目標	現在、国及び道で実施している小学1・2年生の35人以下学級を、市単独事業として小学3・4年生を対象に継続し、きめ細やかな指導と見守りを充実する。 また、小学5・6年生への拡大に向けた検討を推進する。
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	小学校3・4年生で実施している35人学級について、5・6年生になると40人学級に戻ることから、少人数指導の充実が必要
②8年度の取組み (DO)	取組内容	滝川第一小学校第3学年及び第4学年、滝川第二小学校第4学年、東小学校第3学年において、少人数学級による学級編成を行い、市費教員4名を配置した。
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	対象学年(小学校3・4年生)における少人数学級の実践により、きめ細やかに子ども一人ひとりに対応する指導が行われており、児童間トラブルの初期段階での発見・解決に効果が見られるほか、TTによる個別支援と組み合わせたわかりやすい授業の展開にも大きな効果が見られる。
	事業の目標達成状況	小学校3・4年生における少人数学級は、平成20年度の導入から9年が経過し、上記「取組の成果」によりお示した効果を確実にあげている。 一方で、少人数学級の拡大実施については、国や道における施策の拡大の動きもなく、市単独事業としての拡大も市費教員採用に係る人件費負担が大きな課題となり、進捗していない状況である。
今後の方針 (Action)	対象学年の拡大(小学校5・6年生)を図り、小学校を通じてきめ細やかな指導と見守りの充実を実践する。 対象学年の拡大に伴い、今後5か年の児童生徒数の見込みでは、少人数学級の編成が最大で6学級見込まれることから、配置する市費教員の人件費負担が課題となる。	

点検評価委員会 コメント	・少人数学級は、児童一人ひとりに目が行き届き、小学校低学年から学習に躡く前に指導していける利点があると思う。 ・市教委としては、方針どおりに5・6年生への拡大に向けて努力し、早期に実現してほしい。 ・拡大への期待を込めて、評価を「B」とする。	自己評価	点検・評価結果
		B	B

点検・評価に関する報告書

対象年度	平成28年度	所管課名	教育総務課	
(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅱ. 子どもの学びを支える教育環境を整える		
	推進計画の事業名	(5)安全安心な学校づくりの推進		
	重点事業名	②小・中学校改築等施設整備の推進		
	平成28年度事業名	小・中学校適正配置計画		
	事業の目標	平成27年度に策定された滝川市小・中学校適正配置計画(平成28年度～平成32年度)に基づき、学校の小規模化が進む中、義務教育の機会均等や教育水準の維持向上を図るため、江部乙中学校、滝川第一小学校、開西中学校で統合又は再編に向けた検討を推進する。		
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載			
(28年度の取組み) (DO)	取組内容	江部乙小学校及び江部乙中学校のPTA役員と2回の懇談会を開催し、江部乙地区における中学校のあり方について協議し、部活動に取り組める環境や高校進学に向けて一定規模の中学校に通うことが望ましいとの方向性が示された。 この結果を受けて、すべての保護者を対象とした懇談会を11月と1月の2回開催し、市教委の考え方を周知するとともに、保護者の意見を聞く機会を設けた。		
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	江部乙地区における2回の懇談会開催により、江部乙中学校の統合を進める市教委の考え方について周知を図ることができ、概ね保護者の理解を得ることができた。		
	事業の目標達成状況	適正配置計画の初年度において、江部乙中学校の統合に向けた保護者懇談会を開催するなど、概ね順調に計画を推進していると判断する		
(今後の方針) (Action)	江部乙地区については、平成28年度の2回の懇談会を通じて、江部乙中学校の統合に係る保護者の理解は概ね得られているものと判断される。このため、29年度においては、地域住民への説明会を開催し、市長部局とも連携を図りつつ、継続して江部乙中学校の統合を推進する。 また、適正配置計画において統合又は再編の検討が必要とされている滝川第一小学校、開西中学校についても、順次、学区内における人口動態を分析したうえで、保護者及び地域住民との懇談を進める。			
点検評価委員会 コメント	・子ども達の安全・安心な教育環境の確保を優先して、統廃合の実施にあたっては、強引なやり方はしないで欲しい。 ・統合する際に、施設設備が既存のままだと、受け入れる側も移ってくる側も、ただ吸収された感じになるので、施設整備も併せて検討いただきたい。 ・評価は、自己評価どおり「B」とする。		自己評価	点検・評価結果
			B	B

点検・評価に関する報告書

対象年度	平成28年度	所管課名	学校運営課
------	--------	------	-------

(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅱ. 子どもの学びを支える教育環境を整える	
	推進計画の事業名	(5)安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	②小・中学校改築等施設整備の推進	
	平成28年度事業名	教育施設整備事業	
	事業の目標	1) 滝川第二小学校体育館屋根改修工事 (予定工期:7月～8月) 2) 西小学校給食共同調理場外構工事 (予定工期:5月～7月) 3) 西小学校普通教室床改修工事 (予定工期:7月～9月) 4) 西小学校体育館床改修工事 (予定工期:7月～8月)	
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	①児童生徒の安全性の確保に必要な早期の耐震化はほぼ完了したが、今後も校舎等の必要な改修を進めていく。 ②給食施設の整備・改修については、西小学校以降の予算の確保に努め計画的に進めていく。	
⑳年度の取組み (DOO)	取組内容	学校施設整備については、第二小学校屋内体育館の屋根改修工事を、西小学校については、給食共同調理場の外構工事、校舎(普通教室)及び屋内体育館の床改修工事を行ったほか、突発的な修繕等についても、緊急性や危険性などを考慮し、優先度が高いものから実施しました。	
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	1)第二小学校体育館屋根改修工事 (予定工期:7月～8月) 7月19日完了 2)西小学校給食共同調理場外構工事 (予定工期:5月～7月) 7月15日完了 3)西小学校普通教室床改修工事 (予定工期:7月～9月) 11月30日完了 4)西小学校体育館床改修工事 (予定工期:7月～8月) 7月9日完了 以上の工事等を行い、学校の教育環境を整備しました。	
	事業の目標達成状況	「第1期滝川市教育推進計画」(平成24年3月)及び「滝川市小・中学校施設整備方針」(平成22年2月)に記載された事業については、実施することができました。また、今年度予定していた改修工事は、完了しました。	
今後の方針 (Action)	年々学校施設の老朽化が進み小規模な修繕だけでは対応しきれないケースが増えてきており、1件1件の改修工事の規模が大きくなる傾向にあります。今後においても学校施設の改修につきましては、学校からの改善要望等を踏まえ、緊急性や危険性の高いものから優先的に改修を実施するとともに、緊急修繕については、迅速に対応していきます。 また、新たな「施設整備方針」の策定に向け、施設の老朽化状況の調査を実施します。 加えて、「躯体の状況」や「経済性」、「教育機能上の観点」などから、施設整備の時期や手法(「改築」「長寿命化」「大規模改修」等)を定める「個別施設計画」の策定に着手します。		

点検評価委員会 コメント	・予算がついた事業を実施したから「A」とすることには疑義がある。 ・最優先されるべき整備が必要な箇所が何か所あって、それをすべて実施したのであれば「A」でよいが、そうでなければ「B」か「C」になると考える。 ・施設整備について、どこが最優先で、他の施設はどのような状況なのか評価がしやすいように提示して欲しい。 ・今後のさらなる努力に期待して、評価は「B」とする。	自己評価	点検・評価結果
		A	B

点検・評価に関する報告書

対象年度	28年度	所管課名	社会教育課
事業の目標 (Plan)	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	
	推進計画の事業名	(13)健康な心と体を養うスポーツ活動の推進	
	重点事業名	①スポーツ・レクリエーション活動の支援	
	平成28年度事業名	パークゴルフ場事業	
	事業の目標	コース整備についてはH27を以って完了。平成28年度は駐車場やコース備品設置工事、電気工事を実施するとともに、平成29年度からの安定した運営に向けた運営管理方法、料金体系等について決定し、PR・営業活動を行う。	
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	-	
28年度の取組み (DO)	取組内容	①料金体系、運営方法等の決定を行う。 ②駐車場整備、コース備品設置工事、電気引込工事を行う。 ③ネーミングライツの募集を行う。 ④PR活動を行う。 ⑤秋頃を目途に、仮オープン日を設定し、体験してもらう。	
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	8月に台風による浸水被害が発生し、スケジュール等の変更を余儀なくされた(年度内の仮オープンは中止し、29年度5月に3コース先行して仮オープン、7月に8コース全面オープン)が、新たなスケジュールに基づく開設準備は完了した。	
	事業の目標達成状況	想定した準備は完了。	
今後の方針 (Action)	平成29年5月10日 3コースを先行して仮オープン(市民無料、市外割引料金) 平成29年7月1日 全8コースをフルオープン(正規料金) 気軽にスポーツに親しめる場、健康増進の場、コミュニティの場として、市民の利用促進を行うとともに、他施設と連携し、市全体として外客誘致の観点からも活動を行っていく。 現場との報告・連絡を密にして、営業開始後に発生するであろう想定外の事案に対する対応等に遅れないように努める。		
点検評価委員会 コメント	・周辺施設の活用にもつながるように連携しつつ、集客ができるようなイベント開催も検討して欲しい。 ・28年度はオープンに向けて確実に取り組んだということで、自己評価どおり「A」とする。	自己評価	点検・評価結果
		A	A

点検・評価に関する報告書

対象年度	28年度	所管課名	社会教育課	
事業の目標 (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅴ. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える		
	推進計画の事業名	(13)健康な心と体を養うスポーツ活動の推進		
	重点事業名	②競技スポーツの振興充実		
	平成28年度事業名	オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進事業		
	事業の目標	B&G海洋センターを活用したパラカヌー競技の合宿誘致を進めるとともに、合宿誘致活動を通して、障がい者が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを行う。		
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	合宿誘致活動については進展なし		
⑳年度の取組み (DO)	取組内容	① 関係有識者との連携により英国パラカヌー関係者とコンタクトを取るも進展なし。 ② 第1回北海道パラカヌースプリント選手権大会を開催した。 ③ パラカヌー選手発掘事業により参加者募集したが応募者なし。 ④ 市内3校において、アダプテッドスポーツ授業を実施した。		
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	②の開催により、道内の多くの障がい者の方に滝川でカヌー体験ができることを知ってもらえた。その後の訪問もあり。 ④の実施により、児童が知識と体験の両面から障がい者スポーツにバリアを感じずに接することができた。また、事業実施した北海道教育大学岩見沢校 大山先生より、29年度授業の結果と併せて、より詳しい分析結果のフィードバックを受ける予定。		
	事業の目標達成状況	合宿誘致活動については進展なし。 障がい者のスポーツ環境の醸成については、目標通り実施した。		
今後の方針 (Action)	① 合宿誘致について、引き続き活動継続する。 ② 北海道新聞社との連携により、パラスポーツ体験事業を実施し、障がい者が気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めるとともに、合宿誘致に向けた機運を醸成する。 ③ 市内小学校におけるアダプテッド授業について、継続実施する。			
点検評価委員会 コメント	・最終的な事業の目標が合宿誘致ということであれば、施策を考えて進めないと「B」とか「C」になるのでは？ ・取組みの内容を市民に広く知ってもらうことで、変わってくる部分もあると思われる。 ・合宿誘致は実現していないが、障がい者がカヌー体験ができる環境を整備していることから、自己評価どおり「B」とする。		自己評価	点検・評価結果
			B	B

点検・評価に関する報告書

対象年度	28年度	所管課名	社会教育課	
事業の目標 (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅴ. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える		
	推進計画の事業名	(14)文化・芸術活動の創造・育成の支援		
	重点事業名	①市民主体の文化・芸術活動の支援		
	平成28年度事業名	文化ゾーンの検討		
	事業の目標	文化センターをはじめとする文化ゾーンに所在する施設について、その機能に着目し、文化施策のコンセプトを再構築しつつ、そのコンセプトに沿った各施設の今後のあり方についての検討を進め、方向性を定める。		
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	-		
⑳年度の取組み (DO)	取組内容	①文化ゾーン検討市民会議を立ち上げ、今後の文化ゾーンのあり方についての検討を行う。 ②文化ゾーンの可能性や課題を探るため、実験的イベント「カルチャーマーケット」を開催し、検証する。 ③参考となる施設やしくみの視察・調査・研究を行う。		
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	上記①～③を踏まえ、「文化芸術分野を活性化する基本方針」を策定。 (平成29年2月23日総務文教常任委員会報告)		
	事業の目標達成状況	「文化芸術分野を活性化する基本方針」を策定。 市民主体の活動をさらに活性化することを目指し、そのために必要な機能は何か、という視点から、施設のあり方について、教育委員会として一定の方向性を定めた。		
今後の方針 (Action)	次年度より、基本方針に基づき、市全体の施策として総合的に検討を進める。			
点検評価委員会 コメント	・市内の施設が次々に廃止になって、文化活動をする場を今後どうするのか、きちんとした計画を示すべき。 ・小ホールの整備実現に向けて、計画の中で明記して欲しい。 ・教育委員会の28年度事業としては、基本方針を策定したことで目標を達成しているため、自己評価どおり「A」とする。		自己評価	点検・評価結果
			A	A

点検・評価に関する報告書

対象年度	28年度	所管課名	図書館
(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	
	推進計画の事業名	(16)図書館活動の充実	
	重点事業名	②子ども読書活動の推進	
	平成28年度事業名	図書館を使った調べる学習コンクール	
	事業の目標	子ども達が自分の決めたテーマについて、調べまとめた作品を評価するもので、優秀作品を全国コンクールに推薦する。子どもたちの主体的に学ぶ意欲を喚起し、情報活用力の向上と、生涯を通じた学ぶ力の育成を図る	
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	子ども読書活動の推進:学校をはじめ地域・幼稚園・保育所等との一層の連携強化が必要である。	
(28年度の取組み) (DO)	取組内容	「図書館を活用した調べる学習コンクール」を低・中・高学年の3部門で実施し、各部門の最優秀作品3点を全国コンクールへ推薦した結果、3点とも佳作に選ばれた。 また、コンクールの参加拡大を目的に「図書館を使った調べる学習体験講座」を実施するとともに、調べる学習のPRと啓発のため、図書館内で全応募作品の展示を行った。	
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	児童の主体的な学習意欲や情報活用力などが生かされた作品が数多く集まった。また、全作品の展示の実施により、作品のまとめ方など具体的な発見や、次年度への取組み意欲の向上につながった。	
	事業の目標達成状況	外部講師を招へいた体験講座の実施や各小学校との連携により、事業実施初年度にもかかわらず、105作品の応募があり、当初の想定を上回る作品応募数となった。	
(今後の方針) (Action)	引き続き調べる学習コンクールを実施するとともに、作品の質的な向上と併せて、市内の調べる学習に寄与する施設の利用向上を図るため、これら施設と連携した滝川版調べる学習体験講座を実施する。さらに、学校との連携も強化し、応募作品数の増加も図っていく。		
点検評価委員会 コメント	・図書館をいかに利用してもらうかが目標だと思うが、図書館の利用促進につながるよう事業に取り組んでほしい。 ・自己評価どおり「A」とする。	自己評価	点検・評価結果
		A	A

点検・評価に関する報告書

対象年度	平成28年度	所管課名	美術自然史館
(事業の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	
	推進計画の事業名	(17)博物館活動の充実	
	重点事業名	②博物館活動の充実	
	平成28年度事業名	開館30周年記念特別展の開催	
	事業の目標	・岩橋英遠の芸術普及(来場目標 4,000人) ・江部乙にて陶芸家として活躍されている大野耕太郎氏の紹介(来場目標 2,000人) ・郷土の財産であるタキカワカイギュウ化石の理解と関心を深める(来場目標 3,000人)	
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載		
⑳年度の取組み (DO)	取組内容	開館30周年を記念した特別展として①郷土出身の画家・岩橋英遠が抱いた北海道のイメージを巡る「幕末の蝦夷探査 日本画家・岩橋英遠 松浦武四郎を描く」(9/10-10/23) ②陶芸の魅力を伝える「大野耕太郎 磁器の世界」(8/20-9/4) ③タキカワカイギュウを柱に太古の空知を探る「空知の化石展」(7/16-8/14)をそれぞれ開催した。	
取組結果・事業の成果 (CHECK)	取組の成果 (事業による効果)	①岩橋英遠関連特別展のテーマとして、美術だけではなく歴史の要素(松浦武四郎)を取り入れたことで、今まで美術自然史館を訪れる機会がなかった方たちにも岩橋英遠芸術に触れるきっかけを提供することができた。 ②滝川市内で初の大野氏の個展を開催したことで、大野氏の作品、活動等を広く発信することができた。 ③滝川の歴史を伝える資料として、6年ぶりにタキカワカイギュウの全身の現標本(北海道指定天然記念物)を展示したことで、実物ならではの質感を感じていただいた。	
	事業の目標達成状況	①「幕末の蝦夷探査 日本画家・岩橋英遠 松浦武四郎を描く」(来場者数 2,920人) ②陶芸の魅力を伝える「大野耕太郎 磁器の世界」(来場者数 2,166人) ③「空知の化石展」(来場者数 2,035人)～来場者数が目標に届かなかった特別展もあったが、内容的にそれぞれの目標は果たすことができたと考える。開館30周年記念として特別展を開催したことで、館そのもののPRにも繋がった効果がみられ、平成28年度の入館者数は8年ぶりに2万人を超えた。	
(今後の方針) (Action)	これまで館の事業は特別展の開催を中心に進めてきたところだが、今後は第2期推進計画にもとづき岩橋英遠の芸術作品やタキカワカイギュウをはじめ、まちの歩みを記録する歴史資料の保存・研究の充実に活動の中心を移しながら、その成果発表の場として特別展を開催するという方向性を定めていく。		
点検評価委員会 コメント	・特別展として、毎年、同じ人の絵を並べていても、来館者が1日あたり50人とか60人で成功したと言えるのか？ ・厳しい状況のなかで、来館者が2万人を超えたことは、実施した各事業の一定の成果として評価できることから、自己評価どおり「A」とする。	自己評価	点検・評価結果
		A	A